

## 第Ⅱ章 都市の将来像

---

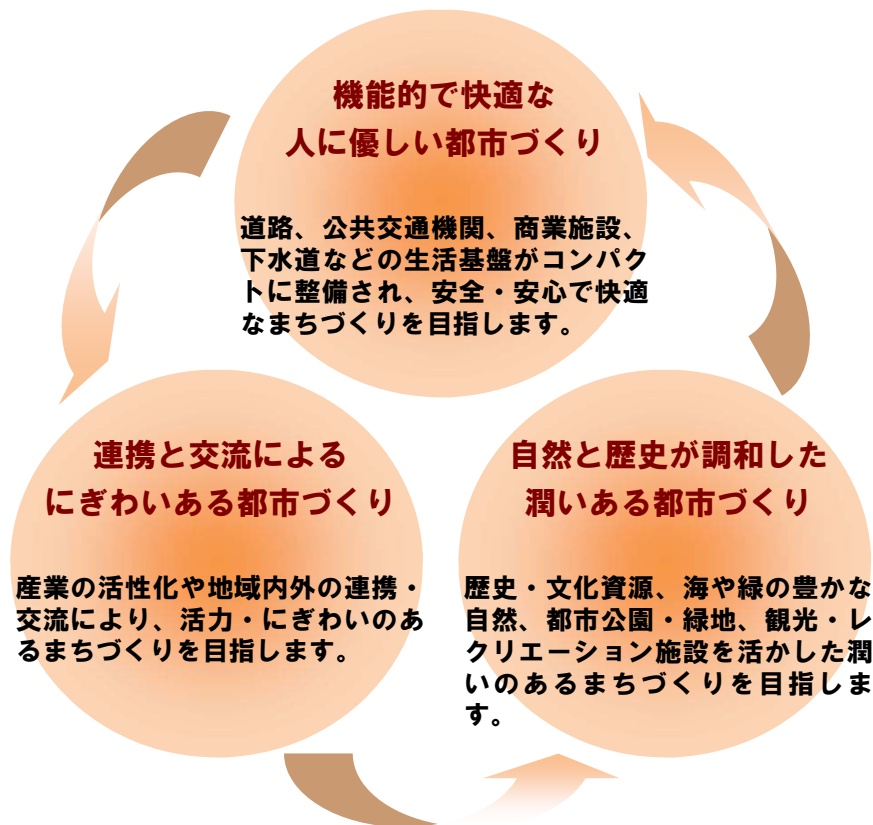


## 第Ⅱ章 都市の将来像

### 1.まちづくりの基本理念

備前市都市計画マスタープランは、上位計画である備前市総合計画や備前市国土利用計画、備前都市計画区域マスタープラン（岡山県）の目指す将来像を実現するために、その一翼を担う計画です。

よって、本市の現況特性などから抽出したまちづくりの課題を整理し、上位計画との整合を図りながら、基本理念を次のように設定します。



### 海とみどりと炎のまち

～ひとが元気、笑顔あふれる～

すべての人が健康で生きがいを持って暮らし、もてなしの心とたくましさや柔軟性をあわせ持つ、新たな魅力を創造・発信するまちを目指します。また、市民一人ひとりを主役とした、健全で自立したまちづくりを市民とともに進めます。

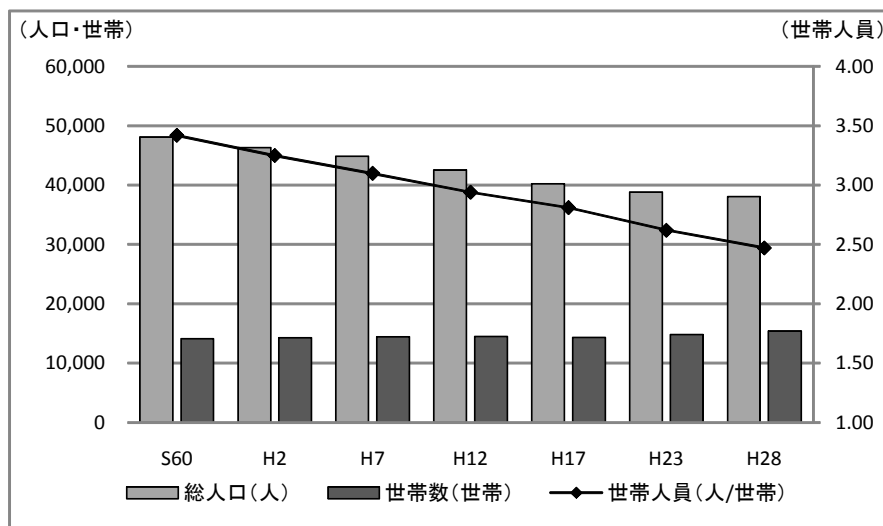
## 2.将来目標

### 1) 目標人口

我が国の人口は減少局面に入りつつある中で、本市の総人口は減少傾向を示しており、今後も同様の傾向が予想されます。

このような人口動向を踏まえ、備前市総合計画では、広域交通網を活かした企業誘致による産業の振興、良好な住環境の整備、子育て支援や若者定住化策などの積極的な展開により、平成28年の目標人口を38,000人としています。

備前市都市計画マスタープランでは、この目標人口を踏襲し、計画的な土地利用や都市施設の整備等による都市の利便性向上などの施策を展開することによって、平成28年の目標人口を38,000人と設定します。



#### ■ 推計結果

	実績値					推計値	
	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H28
総人口(人)	48,112	46,319	44,855	42,534	40,241	<b>38,800</b>	<b>38,000</b>
世帯数(世帯)	14,086	14,250	14,458	14,477	14,335	14,810	15,380
世帯人員(人/世帯)	3.42	3.25	3.10	2.94	2.81	2.62	2.47

※実績値S60,H2,H7,H12,H17は国勢調査による。

## 2) まちづくりの基本目標

目指すべき将来都市像の実現に向け、基本理念に基づき、まちづくりの基本目標を以下のように設定します。

### ▼機能的で快適な人に優しいまちづくり

人口減少や高齢社会などが進展するなか、今後は、計画的な土地利用や拠点となる地域の有効高度利用を図りながら、環境負荷低減の視点に立ったコンパクトなまちづくりを推進していきます。

また、可住地の少ない本市では、低・未利用地などを有効活用して良好な住宅地の供給を図っていきます。

さらには、既存ストック<sup>※1</sup>を有効活用しながら、良好な居住環境の創出、災害に強いまちづくりなどの観点から、道路や公園、下水道、河川などの都市施設を効率的、効果的に整備・維持管理し、安全・安心で快適なまちづくりを推進していきます。

### ▼連携と交流によるにぎわいあるまちづくり

地方分権による自立した都市を目指し、本市の核となる都市拠点や地域の日常生活に対応した生活拠点を形成するとともに、地域交通網を整備することによって、地域間連携を強化し、都市力をボトムアップしていきます。

また、周辺自治体との役割分担や連携強化により、各種サービスの充実を図り、住みよい生活圏域の形成に努めます。

さらには、本市の核となる都市拠点や産業拠点、観光拠点、レクリエーション拠点など、広域的なニーズに応じた様々な交流拠点を形成するとともに、広域交通網を整備することによって、都市間連携を強化し、都市活力を高めていきます。

### ▼自然と歴史が調和した潤いあるまちづくり

多面的な機能を有する森林や身近な里山<sup>※2</sup>、生活の一部でもある優良農地、多島美に代表される瀬戸内海やその海岸線など、本市の特徴でもある豊かな自然環境の保全・再生に努めることにより、人と自然が調和し、環境と共生する持続可能なまちづくりを推進していきます。

また、歴史・文化と一体となった自然環境やレクリエーション機能を有する自然環境については、保全・再生を原則としながら、機能向上や有効活用を図っていきます。

さらには、地域の個性を活かした都市景観の保全・創出や地球環境に配慮したまちづくりを推進していきます。

※1 既存ストック：道路や橋梁、公園などの社会資本で既に今ある資本（施設）のこと。

※2 里山：都市と自然の間であって、人が生活の一部として利用してきた（いる）森林。人里に近い樹林地。

### 3) 将来都市像

備前市総合計画や備前市国土利用計画、備前都計画区域マスタープラン（岡山県）など上位・関連計画を踏まえながら、現況特性を考慮し、将来の都市構造を次のように設定します。なお、将来都市構造とは、将来あるべき本市の都市の骨格を示すものであり、「拠点」「連携軸」「ゾーン」の3要素で構成します。

#### ①将来都市像の方向性

市街地や拠点の無秩序な拡大は非効率な社会資本整備を招き、行政コストの増大へと繋がることから、今後の人口減少時代においては、拡大を抑制する方向に施策を転換する必要があります。

また、環境負荷の観点から、道路や公園など社会資本の既存ストックを有効活用していくことが必要です。

こうしたことから、計画的かつ総合的な土地利用を推進し、効率的に社会資本を整備していくことで、コンパクトでまとまりのあるまちづくりを推進していきます。

#### ②都市構造

##### ◇拠点

地域の特性を活かした機能の集積を図り、地域の求心力を高めます。

都市拠点	【伊部・片上地区周辺】 ・伊部・浦伊部の基盤整備により、片上・伊部地区の連携を強化し、市の中心拠点はもとより、県南東部地域の拠点として、商業・産業・行政・医療福祉など都市機能の集積・強化や都市交流の活性化を図ります。
地域拠点	【日生総合支所及びJR赤穂線日生駅周辺】 ・既存の公共施設を有効活用しながら、日生エリアの中心拠点として必要な都市機能の集積・充実や都市交流を図ります。
生活拠点	【三石出張所及びJR山陽本線三石駅周辺】 ・産業を中心とした地域の活性化や日常生活に必要な都市機能を維持します。 【JR赤穂線寒河駅周辺】 ・隣接する赤穂市との連携を強化しながら、日常生活に必要な都市機能を維持します。
集落拠点	【吉永総合支所及びJR山陽本線吉永駅周辺】 ・地域間の連携を強化しながら、吉永エリアの中心拠点として日常生活に必要な各種サービス機能の整備を図ります。
地域振興拠点	【香登地区・畠田地区周辺】 ・市街地エリアの拡大、都市基盤の整備や企業誘致などによる新たな物流・新産業エリアの創出を検討し、地域活性化を図ります。
産業拠点	【片上湾周囲の工業地域】 ・産業機能の集積地として既存の生産機能の高度化・高付加価値化を図りながら、足腰の強い経済基盤づくりを促進していきます。
観光・レクリエーション拠点	【備前市総合運動公園、備前市浜山運動公園及び備前市日生運動公園】 ・スポーツ・レクリエーション機能の集積を図ります。 【たぬき山展望台及び外輪海水浴場周辺、まほろば周辺】 ・架橋による連携強化とともに、観光・レクリエーション機能の充実を図ります。 【伊部周辺、旧閑谷学校周辺、五味の市及び楯越山周辺、八塔寺周辺】 ・歴史・文化資源や自然を活かした観光機能の充実を図ります。

## ◇連携軸

道路を中心として都市間及び地域間を結び、人や物、情報などを誘導します。

国土連携軸	【山陽自動車道】 ・国土の均衡ある発展のため、都市、産業、交通を連携する国土連携軸として位置付けます。
広域連携軸	【国道2号】 ・主に近畿地方と中国地方を結び、県内外の交流促進を図る広域連携軸として位置付けます。
都市連携軸	【国道250号・国道374号・一般県道寒河本庄岡山線など】 ・都市拠点とその他の拠点の連携強化とともに、岡山市や周辺市町村との連携強化を図る都市連携軸として位置付けます。
地域連携軸	【都市連携軸以外の県道等】 ・地域間の連携強化とともに、広域連携軸や都市連携軸を補完する地域連携軸として位置付けます。

## ◇ゾーン

計画的な土地利用を図り、拠点や連携軸とともに面的なまちへと展開します。

中山間ゾーン	【吉永エリアを中心とした市北部地域】 ・豊かな自然や歴史・文化、生活が融合したゾーンを目指し、自然環境の保全に努めるとともに、レクリエーション機能など森林の多面的機能を有効に活用します。また、農林業の振興に努め、豊かな田園環境を適正に保全するとともに、都市拠点との連携を強化し、良好な生活環境を維持していきます。
産業・文化ゾーン	【備前エリアを中心とした市中部地域】 ・歴史・文化、商業、業務、工業など多様な都市機能が集積するゾーンを目指し、計画的な土地利用による都市機能の集積を図るとともに、商業や産業の活性化、地域資源を活用した連携・交流により、活力やにぎわいの創出を図ります。また、適正な土地利用コントロールと社会資本整備により、良好な市街地環境の創出を図ります。
海洋ゾーン	【日生エリアを中心とした市南部地域】 ・瀬戸内海国立公園や多島美に代表される豊かな自然や良好な景観と生活が融合したゾーンを目指し、自然環境や優良農地の適正な保全に努めます。また、都市拠点との連携を強化等し、良好な生活環境を維持しながら、レクリエーション機能の充実や水産業、観光の振興に努めます。

■将来都市構造図

凡 例	
都市拠点	
地域拠点	
生活拠点	
集落拠点	
地域振興拠点	
産業拠点	
観光・レクリエーション拠点	
広域連携	
国土連携軸	
広域連携軸	
都市連携軸	
地域連携軸	
鉄道	
航路	
中山間ゾーン	
産業・文化ゾーン	
海洋ゾーン	
農地	
森林	
水面・河川・水路	
宅地	
その他	
用途地域	
都市計画区域	
行政界	

